

○平成30年度一般会計決算収支の状況

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比 較 (A - B)	伸 率	
① 歳 入 総 額	8,687,058	8,582,391	104,667	1.2	
② 歳 出 総 額	8,319,302	8,209,635	109,667	1.3	
③ 歳入歳出差引額(形式収支)	367,756	372,756	△ 5,000	△ 1.3	
④ 翌年度へ 繰越すべき財源	継続繰越費額	1,940	0	1,940	—
	繰越明許費額	26,798	36,414	△ 9,616	△ 26.4
	事故繰越額	12,581	2,430	10,151	417.7
	計	41,319	38,844	2,475	6.4
⑤ 実 質 収 支 (③-④)	326,437	333,912	△ 7,475	△ 2.2	
⑥ 単 年 度 収 支	△ 7,475	△ 54,129	46,654	△ 86.2	
⑦ 財 政 調 整 基 金 積 立 金	899,062	515,188	383,874	74.5	
⑧ 地 方 債 繰 上 償 還 金	0	0	0	—	
⑨ 財 政 調 整 基 金 取 崩 し	483,650	343,480	140,170	40.8	
⑩ 実 質 単 年 度 収 支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	407,937	117,579	290,358	246.9	

平成30年度の一般会計歳入総額は86億8,705万8千円、歳出総額は83億1,930万2千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は3億6,775万6千円となります。

翌年度へ事業を繰越しとする財源を差し引いた実質収支は3億2,643万7千円で、この実質収支から、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は747万5千円の赤字となりました。

また、単年度収支に財政調整基金への積立8億9,906万2千円を加え、財政調整基金からの取崩し額4億8,365万円を差し引いた実質単年度収支は4億793万7千円の黒字となっています。